

乗鞍エコーラインと乗鞍スカイラインのサイクリング

乗鞍岳は、豊かな森と美しい景色、そして登りの難しさで、古くからアウトドア愛好家を魅了してきました。登山、ハイキング、スキーなど、それぞれに歴史のある山で、今、乗鞍には新しいタイプのアスリート、つまりレクリエーション・サイクリストが集まってきています。

乗鞍岳の山頂へは、長野県側の「乗鞍エコーライン」（20.5km）と岐阜県側の「乗鞍スカイライン」（14.4km）という2つの道路が通っています。どちらも自動車の通行が禁止されているため、週末にサイクリングを楽しむ人からプロのレーサーまで、幅広い年齢層とスキルのサイクリストが集まっています。

乗鞍岳は、1986年にエコーラインで開催された第1回乗鞍ヒルクライムで一躍有名になりました。曲がりくねったカーブと壮大な景色はツール・ド・フランスのアルプスやピレネーのコースを彷彿とさせます。毎年8月の最終週末に開催されるこのレースには、現在4,000人を超える参加者が集まっています。1時間以内にコースを完走するエリート選手から、単に山頂を目指して参加するアマチュアまで様々です。多くの人が自己ベストを更新するために毎年戻ってきます。

2004年には岐阜県の「乗鞍スカイラインサイクルヒルクライム」が毎年の地域行事に加わりました。全長18.4km、標高1,342m、平均勾配7.2%のコースです。また、あらゆる年齢や能力のサイクリストを惹きつけ、中には衣装を身につけて参加する人もいます。最近では電動アシスト自転車のカテゴリーも設けられ、運動が苦手な人でも少しの電動アシストがあれば山頂を目指すことができます。

乗鞍エリアでのサイクリングは、ロードだけではなく、マウンテンバイク用のトレイルが整備されているので、オフロードでも楽しめます。乗鞍高原の施設では、マウンテンバイクをはじめとする電動自転車のレンタルやレッスン、ガイド付きのマウンテンバイクツアーも行われています。